

C+IERISH

電動式たん吸引器チェリッシュ S-601

取扱説明書 Ver. 1.0

で使用の前に

| 安全上のご注意 | 2 |
|----------------|---|
| 製品の特長 | 6 |
| 製品の構成 | - |
| 木休各部のなまえとはたらき… | ۶ |

正しい使いかた

| ご使用前の準備 | 10 |
|----------|----|
| たん吸引のしかた | 12 |
| 吸引がおわったら | 14 |

お手入れと保管について

| 洗浄について16 |
|------------------|
| 滅菌・消毒について18 |
| 滅菌・消毒対応一覧表20 |
| 組み立てかたと保管について…25 |

困ったときに・保証など

| 故障と点検について | 25 |
|-----------------|----|
| 仕様について | 29 |
| 記号について | 30 |
| 別売品について | 31 |
| EMC 技術資料 ······ | 32 |
| 保証規定と保証書 | 36 |

このたびは電動式たん吸引器チェリッシュをお買い上げいただきましてありがとうございます。 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。 本書は品質保証書を兼ねています。無償修理の際に必要となりますので、大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための ものです。安全にご使用いただくために、必ずお守りください。

| 警告サイン | 説明 |
|-------|------------------------------|
| ▲警告 | 「死亡、または重傷を負う可能性がある内容」を示します。 |
| ⚠注意 | 「軽傷や物的損害が発生する可能性がある内容」を示します。 |

| 図 記 号 | 説明 |
|------------|---------------------------|
| \Diamond | してはいけないこと(禁止)を示します。 |
| 0 | しなければならないこと(必ず守ること)を示します。 |

で使用に当たって

▲警告

- チェリッシュ S-601 は鼻汁、たん汁などを吸引する医療用吸引器ですので、必ず医師または医療従事者の指導のもと、使用してください。
- 本器に異常が生じた場合は直ちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - (万一、故障した場合は、内部機器には触れずお客様サービスセンターにご連絡ください。)
- ご購入後、初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかったときは、使用前に清拭・滅菌または消毒を行ってください。 (本製品は未滅菌で出荷されます。)
- 吸引物が吸引ボトルの規定容量(1200mL)を超えないようにしてください。 (ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。)
- 本器の使用目的以外の目的(採血用など)では絶対に使用しないでください。
- 本体各部に注油しないでください。
- 可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。(火災やけがの恐れがあります。)
- 絶対に分解・改造を行わないでください。(発火や感電、けがの恐れがあります。)
- 本体背面の排気口を塞がないでください。
- 本体および AC アダプターは防水構造ではないため、水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。 (感電、ショートの恐れがあります。)
- 機器と接触する部分に傷や炎症、出血などが見られる場合は、使用しないでください。
- 付属の専用 AC アダプター以外は絶対に使用しないでください。発火や故障の原因となります。





①注意

- 本器は周囲温度+5~+35℃、相対湿度30~60%の環境で使用してください。
 (正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。)
- お子様が使用するときは、必ず保護者の方が付き添ってください。 (誤った使いかたにより、症状が悪化する恐れがあります。)
- 吸引圧を調節するときは、真空計の目盛りを見ながら徐々に行ってください。
- 部品は水気を十分に切ってから取り付けてください。 (ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。)
- ボトルカバーへはフロートセットを必ず取り付けて使用してください。
- 水平で安定した場所で使用してください。
- 機器を倒さないでください。 (ポンプ内に吸引物が入り、故障の原因となります。)
- 本体のすき間から内部に指や物を入れないでください。 (感雷や故障、けがの原因になります。)
- 本体を毛布やタオル等で包んだ状態で使用しないでください。 (発熱や感電、故障の原因になります。)
- 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「入」にしないでください。 (ヒューズが切れる恐れがあります。)
- 本体を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。 (破損し、感電や故障する恐れがあります。)
- 吸引ボトルを落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 吸引ボトルに割れ、傷、カケがあるものは使用しないでください。
- 本製品の付属品および当社純正の別売品以外は使用しないでください。 (正常に動作せず、症状が悪化する恐れがあります。)



電源について

▲警告

- 必ず専用 AC アダプターを使用し、交流 100V-240V(50 ~ 60Hz)で 15A 以上の容量があるコンセントに接続してください。
 (異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因になります。)
- 0
- 濡れた手で電源コードや電源プラグを抜き差ししたり、触ったりしないでください。 (感電によるけがをする恐れがあります。)



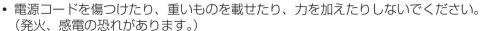
注意

- コンセントは単独で使用してください。 (火災や漏電の原因になります。)
- 電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。 (感電やショート、発火の原因になります。)
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
 - (電源コードが破損して、感電や発火の原因になります。)
- 電源プラグやコンセントにほこりを溜めないように、定期的に清掃してください。 (コンセントが熱を持ち、ほこりに引火することがあります。)



• 電源コードや電源プラグが痛んでいたり、コンセントの差し込み具合が緩いときは使用しないでください。

(感電やショート、発火の原因になります。)



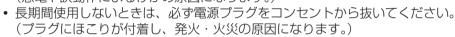




お手入れと保管について

▲警告

- 本体および付属品は清潔な場所で保管してください。 (雑菌が繁殖し、感染の原因になります。)
- 部品の取り付け・取り外し、お手入れのときは、電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 (感電や誤動作によるけがの原因になります。)





• 子供の手が届くところには置かないでください。 (小さな部品を飲み込む原因になります。万一、飲み込んだ場合には直ちに医師にご相談ください。)



企注意

- ご不要となった本体や付属品、別売品を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールに従って廃棄してください。 (環境汚染の原因となることがあります。)
- 洗浄時の吸引においても、吸引ボトル内に吸引物がいっぱいにならないよう常に監視してください。



- 吸引物をポンプ側に吸い込んだ場合は配管内に溜まり故障の原因となるため、必ず製造販売元または修理業者による点検を受けてください。
- 本器をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。 (故障の原因になります。)
- 次の場所には設置および保管しないでください。
 - 化学薬品の保管場所、ガスの発生する場所(本製品は防爆構造になっておりません。)
 - -水のかかる場所
 - -ほこり、塩分、硫黄分、湿気などの多い場所(火災や感電の恐れがあります。)
 - 傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所(転倒や落下などで破損し、故障する恐れがあります。)
 - -直接日光の当たる場所(日光が当たっている部分が高温になり、故障する恐れが あります。)



保守点検について

- 使用前に必ず本体が正常かつ安全に動作することを確認してください。
- 日常点検および、保守点検(ユーザー点検)を必ず行ってください。
- 1年に1度は製造販売元または修理業者による年次点検、整備を必ず行ってください。 (性能や安全性を維持できなくなります。)
- 定期的な清掃や点検をしてください。本器を永く安全にお使いいただくため、また 突然の故障などを防ぐためにも、必ず本書に従った日常点検、保守点検(ユーザー 点検)および定期点検を行ってください。
- 長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど作動上の安全を確認してから使用してください。
- 吸引器は、吸引配管内やポンプ内にミスト状の吸引物を吸い続けていますので、使用頻度によって吸引圧力や吸引流量に影響がでてきます。必ず、製造販売元または修理業者による定期点検をお受けください。(有料)



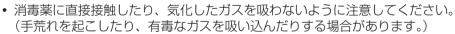
消毒・滅菌処理、消毒薬使用について

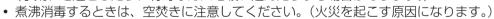
▲警告

- 部品を洗浄・滅菌または消毒した後は、十分に水洗いを行い、よく乾燥させてから 清潔な場所に保管してください。 (乾燥が十分でないと雑菌が繁殖し、感染の原因になります。)
- 0
- エチレンオキサイドガス(EOG)滅菌後は充分エアレーションを行い、ガスの残留のないよう注意してください。



- 滅菌または消毒の前に必ず洗浄を行ってください。 (汚れ、付着物などがついたままでは、滅菌または消毒の効果が低くなります。)
- 消毒薬の希釈濃度および浸漬時間は、各種消毒薬の添付文書に従い用法、用量を守り正しくお使いください。
 - (高濃度、もしくは必要以上に長時間の浸漬消毒は部品を劣化させる原因になります。)





- 消毒薬は、他の消毒剤や洗剤と混ぜないでください。 (消毒剤の効力が損なわれたり、危険な成分が生じることがあります。)
- クレゾール系、両性界面活性剤系、アルコール系は樹脂にヒビ割れ等を生じる可能性がありますので使用しないでください。



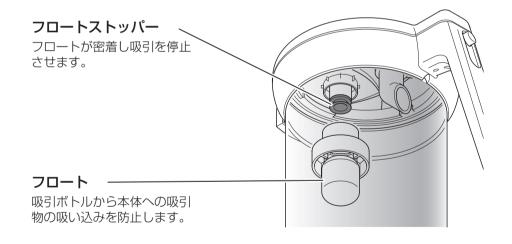
製品の特長

- ■インテリアになじむ、医療機器として今までにないデザインの吸引器です
- ■低圧から高圧まで、任意の吸引力が得られます
- ■フロートストッパーの採用により、吸引物が一杯になると吸引が止まります
- ■吸引チューブを収納するホルダー、チューブ固定クリップを設けました

オーバーフロー防止装置模式図

本器は吸引ボトルのオーバーフローを防止するためのフロートを備えております。 吸引ボトル内が吸引物でいっぱいになると、フロートがフロートストッパーに密着し、吸引が停止します。

- ※フロートが機能しないことがありますので、吸引物が吸引ボトルの MAX ライン(赤線)を超えないように常に監視してください。
- ※フロート部分に汚れ等が付着した場合はすみやかに洗浄してください。

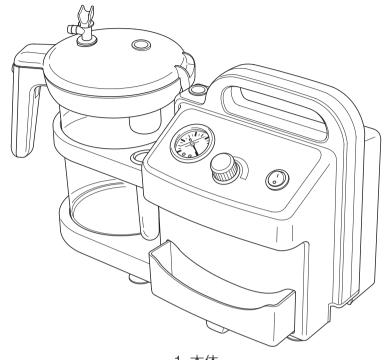


注意

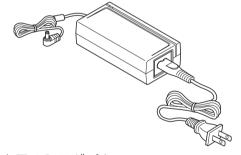
- 吸引前にはフロート・フロートストッパーがボトルカバーに確実に装着されているかを確認してください。
- フロートが降りていることを確認してください。



製品の構成



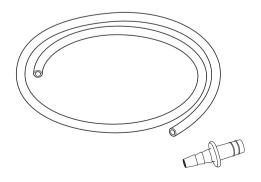
1. 本体



2. 専用 AC アダプター



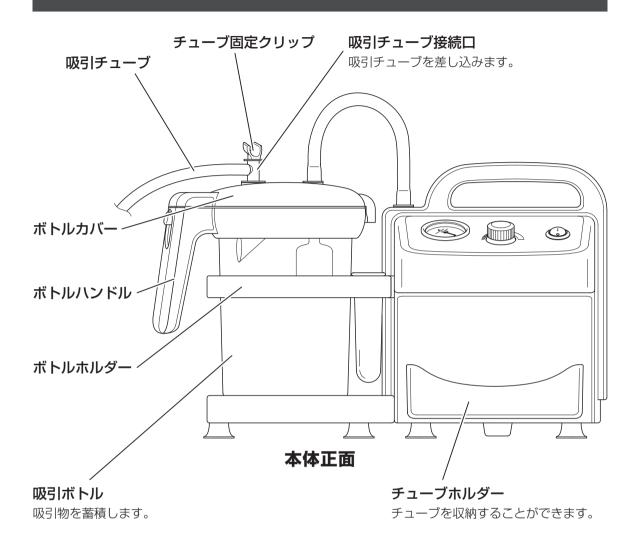
3. 本体チューブ(本体チューブ接続口付)

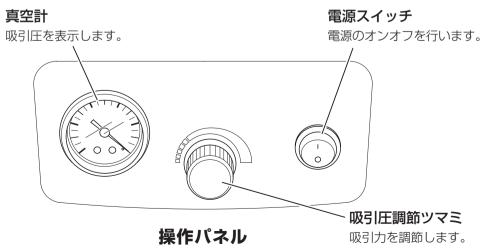


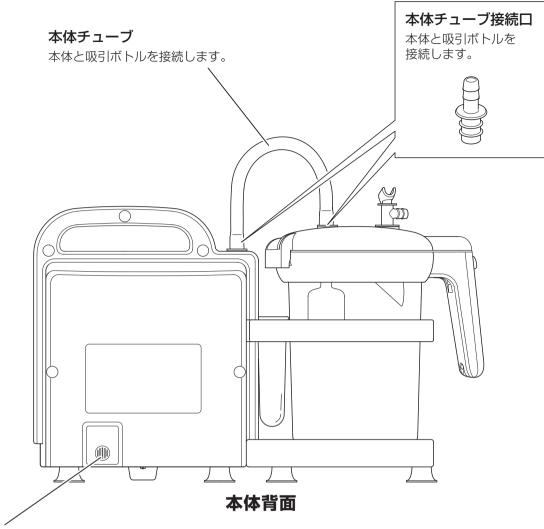
4. 吸引チューブ・カテーテルコネクター 6. 添付文書

5. 取扱説明書兼品質保証書(本書)

本体各部のなまえとはたらき

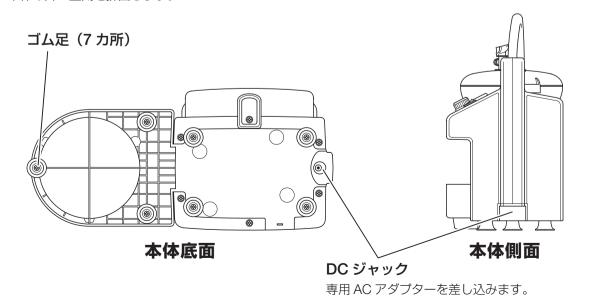






排気口

本体の外へ空気を排出します。

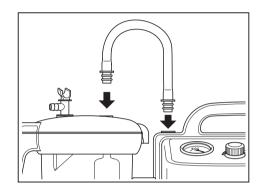


で使用前の準備

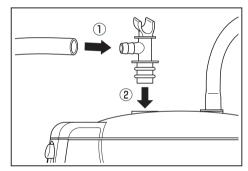
※その日、初めてのご使用の前には、日常点検(P.25)を行ってください。

本体組み立てかた

本体チューブを本体とボトルカバーに取り付けます。

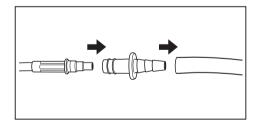


2 本体を安定した場所に置きます。 吸引チューブを吸引チューブ接続口につ なぎ、ボトルカバーに取り付けます。



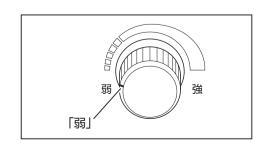
3 本体に接続した吸引チューブの反対側に、 カテーテルコネクターを取り付け、別売 りのカテーテルを接続します。

※コネクターはギザギザ側をチューブに接続してください。

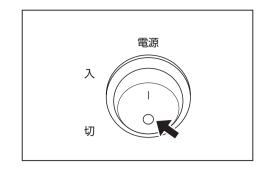


電源の準備

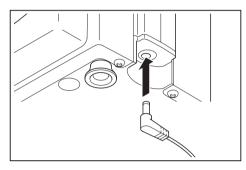
1 吸引圧調節ツマミが「弱」になっていることを確認します。



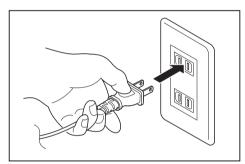
2 電源スイッチが「切」になっていること を確認します。



3 専用 AC アダプターのピンプラグを本体 の DC ジャックに接続します。



電源プラグをコンセントに差し込みます。



▲警告

- 電源は交流 100V-240V(50Hz \sim 60Hz)を使用してください。異なる電圧で使用すると、感電や発煙、火災の原因となる恐れがあります。
- 0
- 付属の専用 AC アダプター以外は絶対に使用しないでください。発火や故障の原因となります。
- 0

• 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



• 設定した吸引圧を変更する場合は、真空計の目盛りを見ながら徐々に調節してください。



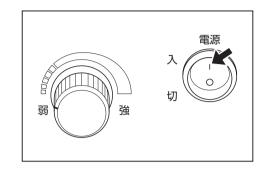
• 吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で、電源スイッチを「入」にしないでください。 真空計の針が「O」を指していることを確認してください。



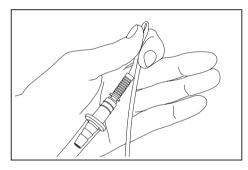
たん吸引のしかた

※水平で安定した場所でご使用ください。

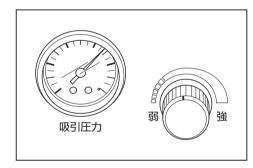
1 吸引圧調節ツマミが「弱」になっていることを確認し、電源スイッチを「入」にします。



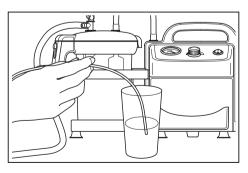
2 カテーテルの根元を手で折り曲げ、空気 の流入を止めます。



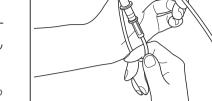
3 真空計の目盛りを見ながら、吸引圧調節 ツマミを回し圧力を調整します。 (吸引圧に関しては、かかりつけのお医者 様のご指示に従ってください。)



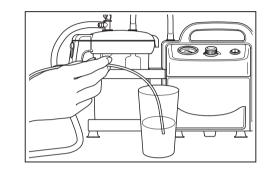
- 4 カテーテルを折り曲げた手を離し、カテーテルの先端を清潔な常水もしくは精製水などにつけ吸引チューブ内に水を通します。
 - ※カテーテルを折り曲げた手を離すと吸引圧が下がります。これは空気が流入することによる自然な現象で、機器の異常や故障ではありません。
 - ※吸引チューブの内部に吸引物が付着するのを 防ぎ、吸引したものがスムーズに吸引ボトル に送られるようにするためです。



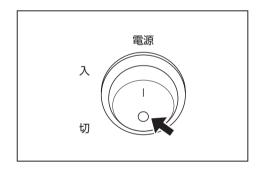
再度、カテーテルの根元を折り曲げて、 穴の開いている先端部分を口腔、咽頭、 鼻腔などからカテーテルを挿入します。 吸引したい箇所に先端が届いたら、カテー テルを折り曲げている手を離して吸引し ます。



- ※1回の吸引は、10秒~15秒以内を目安に行ってください。
- ※吸引物が吸引ボトルの規定容量(1200mL)を超えないようにしてください。 (ポンプ内に吸引物が吸引されると故障の原因になります。)
- 6 吸引終了後は、カテーテルの先端を清潔な常水もしくは精製水などにつけ、吸引 チューブ内に水を通します。
 - ※常水や精製水などを吸引するのは、吸引 チューブの内部に留まった吸引物を吸引ボト ルに移動させてきれいにするためです。



7 電源スイッチを「切」にし、運転を停止します。



▲警告

- 本器の操作については、医師または熟練者の指導に必ず従ってください。
- ご購入後、初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは使用前に清拭・滅菌または消毒を行ってください。



<u> ①</u>注意

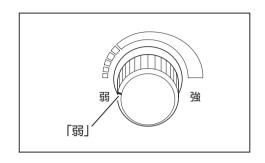
• 部品は、水気を十分に切ってから取り付けてください。 (ポンプ内に水などが吸引されると故障の原因になります。) ※特にボトルカバー部分に水分が残っていないか確認してください。



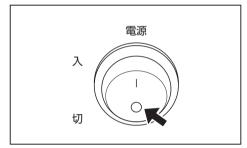
吸引がおわったら

電源の取り外しかた

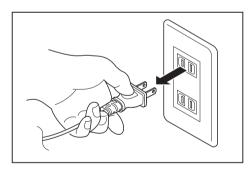
吸引圧調節ツマミが「弱」になっていることを確認します。



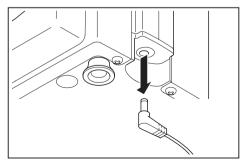
2 電源スイッチが「切」になっていること を確認します。



電源プラグをコンセントから抜きます。



専用 AC アダプターのピンプラグを本体 の DC ジャックから抜きます。



▲警告

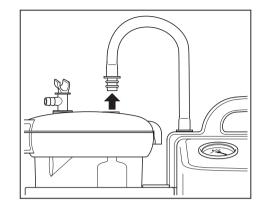
• 濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり触ったりしないでください。



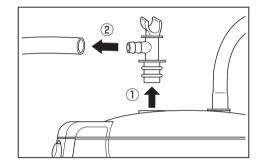
吸引ボトルの取り外しかた

本体チューブを接続口ごとボトルカバー から外します。

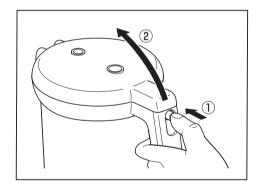
※先にチューブを外してしまうと、接続口が外れなくなりますのでご注意ください。



2 吸引チューブ接続口をボトルカバーから 取り外し、吸引チューブを外します。

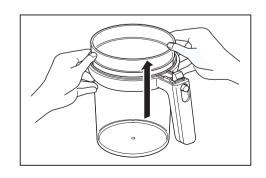


3 本体から吸引ボトルを取り外し、図のようにボトルハンドルのボタンを押してボトルカバーを外してボトル内部の吸引物を捨ててください。



ボトルハンドルの正しい取り付けかた

ボトルハンドルは、吸引ボトルの上までしっかり 上げてください。上がっていないとボトルカバー が装着できません。

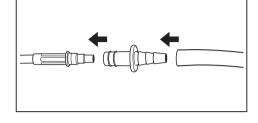


洗浄について

洗浄前の準備

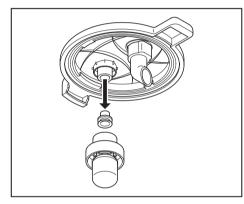
ボトルカバーから外した吸引チューブから、カテーテルとカテーテルコネクターを外します。

※カテーテルは、お住まいの自治体のルールに 従って廃棄してください。

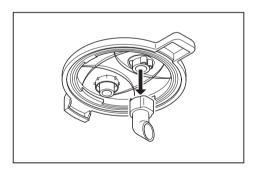


2 ボトルカバーからフロートストッパー、フロートを取り外します。

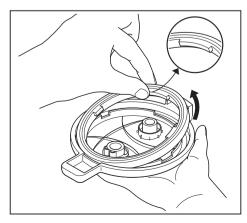
※フロートは分解できません。



排水管を取り外します。



ボトルパッキンを取り外します。



洗浄のしかた

吸引チューブ内部の洗浄

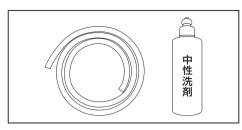
中性洗剤を薄めた水溶液に浸して洗浄し、よくすすいで乾燥させます。

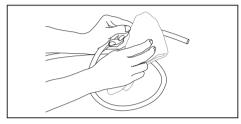
※汚れが取れにくい場合は、塩素系漂白剤を希釈したものに30分~1時間浸け置きをします。その後すすぎ、水分をよく切り乾燥させます。

吸引チューブ外部の洗浄と消毒

中性洗剤の水溶液を用いて、柔らかいスポンジなどを使い洗浄します。

※中性洗剤を薄めた水溶液に浸すと、チューブの内部と外部が一緒に洗浄できます。





その他部品の洗浄

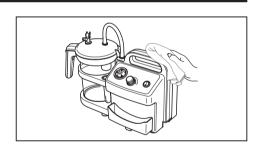
ボトルカバー、フロートストッパー、ボトルパッキン、排水管、本体チューブ、 本体チューブ接続口、吸引チューブ接続口、吸引ボトル、カテーテルホルダー

中性洗剤を薄めた水溶液に浸して洗浄した上で消毒液などに浸し、清潔な布などの上で乾かします。 ※洗浄する際は、必ず柔らかい布やスポンジなどを用いてください。固いものを使用すると、傷などの原因になります。 洗浄後、消毒を行わない場合は、各部品を十分乾燥させ、元のように組み立てます。

本体の清掃のしかた

水か消毒用アルコールで湿らせて、軽くしぼった 柔らかい布で拭き洗浄します。

汚れがひどい場合は、水で湿らせた布に中性洗剤 の水溶液を軽くつけて拭き、清潔でよく乾いた布 などで拭き取ります。



チューブホルダー内にほこり等が溜まった場合は、湿らせた柔らかい布で拭きとってください。

▲警告

- お手入れや、部品の取り付け・取り外しのときは、電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や誤動作によるけがの原因になります。
- 洗浄・滅菌または消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。



• 本体や AC アダプターは防水構造ではありません。水やお湯などで丸洗いしたり、水に浸したりしないでください。



介注意

• 本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。



滅菌・消毒について

病院などの施設での滅菌・消毒

※滅菌・消毒の前に必ず洗浄を行ってください。

オートクレーブ(高圧蒸気滅菌)はご使用いただけません。EOG 滅菌または消毒剤による 浸漬消毒をおすすめします。

■ EOG(エチレンオキサイドガス)滅菌

50℃以下で行い、滅菌後に十分にエアレーションを行って、ガスの残留がないようにご注意ください。

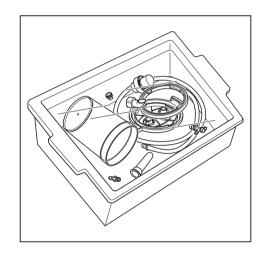
■消毒剤による浸漬消毒

1. 部品全体が十分に浸漬できる深めの容器で行います。

(容器はフタのできる遮光性が高いものを推奨します)

- 2. 管状の部品は空気が残らないように消毒液を通して全体を浸します。
- 3. 消毒薬が残らないように水で十分にすすぎます。
- 4. 直射日光を避け、陰干しで十分に乾かします。

※ボトルハンドルは浸漬しないでください。



- ※消毒薬によって使用できる商品の材質および、消毒の対象となる菌が異なります。「滅菌・消毒対応一覧表(P.20~21)」を参考に、各材質にあった消毒薬をご使用ください。
- ※各種消毒薬の取り扱いについては、各種消毒薬付属の添付文書および取扱説明書または、各購入店も しくは、各メーカーへお問い合わせください。
- ※次亜塩素酸ナトリウムや塩化ベンザルコニウムなどの水溶液は腐食性が強いので、必ず水洗いを行い、 水溶液を洗い流します。
- ※気化した消毒薬を吸い込むことにより、内部機器を腐食させる恐れがありますのでご注意ください。

在宅での消毒

※滅菌・消毒の前に必ず洗浄を行ってください。

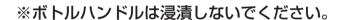
消毒剤による浸漬消毒をおすすめします。

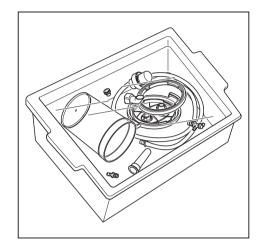
■消毒剤による浸漬消毒

1. 部品全体が十分に浸漬できる深めの容器で行います。

(容器はフタのできる遮光性が高いものを推奨します)

- 2. 管状の部品は空気が残らないように消毒液を通して全体を浸します。
- 3. 消毒薬が残らないように水で十分にすすぎます。
- 4. 直射日光を避け、陰干しで十分に乾かします。





- ※消毒薬によって使用できる商品の材質および、消毒の対象となる菌が異なります。「滅菌・消毒対応ー 覧表(P.20~21)」を参考に、各材質にあった消毒薬をご使用ください。
- ※各種消毒薬の取り扱いについては、各種消毒薬付属の添付文書および取扱説明書または、各購入店も しくは、各メーカーへお問い合わせください。
- ※次亜塩素酸ナトリウムや塩化ベンザルコニウムなどの水溶液は腐食性が強いので、必ず水洗いを行い、 水溶液を洗い流します。
- ※気化した消毒薬を吸い込むことにより、内部機器を腐食させる恐れがありますのでご注意ください。

▲警告

• 洗浄・滅菌または消毒した部品は、十分に水洗いを行い、すみやかに乾燥させた上、 必ず清潔な場所に保管してください。



介注意

• 滅菌または消毒の前に必ず洗浄を行ってください。



滅菌・消毒対応一覧表

| 部品名 | 吸引ボトル | ボトル カバー | ボトル ハンドル | ボトル パッキン | 排水管 | フロート | フロートストッパー | |
|------------------------------|-------|------------|-----------------------|-------------|------|-------|-----------|--|
| 材質 | PC | ABS | ABS/PP/シリコン /ステンレス | シリコン | シリコン | PP/PE | シリコン | |
| 消毒剤の種類 | | | | | | | ٥ | |
| グルコン酸 クロルヘキシジン (ヒビテン液) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 逆性石鹸液 (オスバンなど) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| フタラール (ディスオーパ) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| アルコール (エタノール) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 次亜塩素酸 ナトリウム (ミルトンなど) | 0 | 0 | × | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 両性界面活性剤(テゴー 51) | × | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| フェノール (クレゾール石鹸液) | × | × | × | × | × | × | × | |
| ポピドンヨード (イソジン) | × | × | × | × | × | × | × | |
| EOG 滅菌 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 煮沸·高圧 蒸気滅菌 | × | × | × | × | × | × | × | |

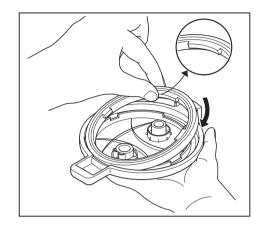
○:使用可能 △:使用可能(外観または感触に変化あり) ×:使用不可

| - 吸引チューブ 接続口 | 吸引チューブ 接続口 O リング | - 吸引 - | カテーテル ホルダー | 本体 チューブ | 本体チューブ 接続口 | 本体チューブ 接続口 O リング | カテーテルコネクター |
|-----------------|------------------------|-----------|---------------|------------|-----------------|------------------------|------------|
| PP | シリコン | PVC | PC | PVC | PP | シリコン | PP |
| gg Sm | 00 | | | | OLIÇED . | 00 00 | |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | × | 0 | × | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | Δ | 0 | Δ | 0 | 0 | 0 |
| 0 | 0 | 0 | × | 0 | 0 | 0 | 0 |
| × | × | × | × | × | × | × | X |
| × | × | × | × | × | × | × | × |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| × | × | × | × | × | × | × | × |

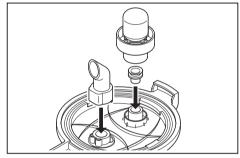
組み立てかたと保管について

※部品の組み立てを行い本体に取り付けた上で保管してください。

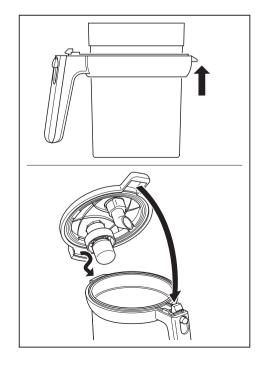
1 ボトルカバーにボトルパッキンを取り付けます。



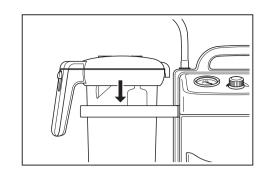
2 フロートストッパー、フロート、排水管 をボトルカバーに取り付けます。



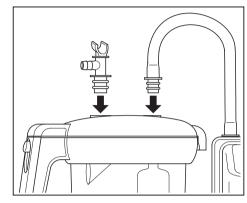
3 ボトルハンドルを吸引ボトルの下から取り付け、ボトルカバーを図のようにボトルに取り付けます。



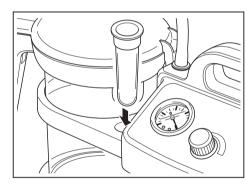
4 吸引ボトルをボトルホルダーにはめ込みます。



ずトルカバーに本体チューブと吸引チュー ブ接続口を取り付けます。



カテーテルホルダーを取り付けます。



清潔な場所に保管します。

・ 部品は十分に乾燥させてから取り付けてください。・ 不安定な場所や、子供の手が届くところには置かないでください。

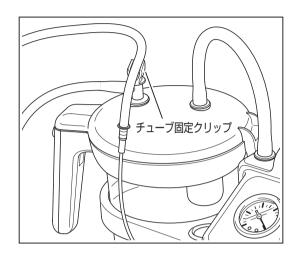
! 注意

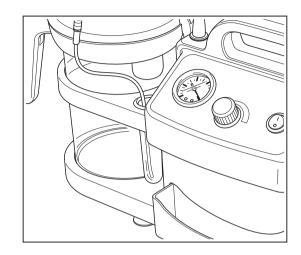
• 本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。



カテーテルホルダーの使いかた

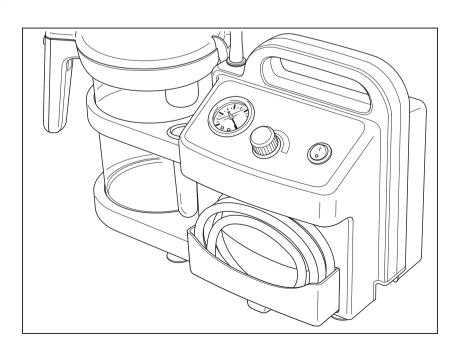
吸引を一時的に中断する場合は、図のように吸引チューブをチューブ固定クリップに固定し、カテーテルまたは吸引チューブをカテーテルホルダーに入れてください。





チューブホルダーの使いかた

使用しないときは、図のように吸引チューブを束ね、チューブホルダーに収納することが できます。



故障と点検について

日常点検について

日常点検チェックリスト

| 点検項目 | 点検内容 | 処置方法 |
|---------------|---|--|
| 専用 AC アダプター | 専用 AC アダプター本体、コード、 プラグに変形や損傷、断線などが ありませんか。 | 断線など破損している場合は、交換してください。 |
| フロートフロートストッパー | フロートが円滑に動いていますか。 | 汚れがある場合は洗浄してください。 |
| ボトルカバー | フロートセットが正しく取り付け てありますか。 | 正しく取り付けてください。汚れがある場合は洗浄してください。 粉失した場合は、お客様サービスセンターにご連絡ください。 |
| 吸引ボトル | ヒビ割れ、傷などがありませんか。 ボトルカバーにボトルパッキンが 正しく取り付けてありますか。 | 破損している場合は、交換してください。 |
| 吸引チューブ接続口 | O リングが正しく取り付けてあ りますか。 | 汚れがある場合は洗浄してください。紛失した場合は、お客様サービスセンターにご連絡ください。 |
| 真空計 | 停止状態において、針はゼロ付近 を指していますか。 | 動作異常がある場合は、真空計の 故障が考えられます。お客様サー ビスセンターにご連絡ください。 |
| 電源スイッチ | 電源スイッチの「入」「切」動作 に異常がありませんか。 | 動作異常がある場合は、電源の故障が考えられます。お客様サービスセンターにご連絡ください。 |
| ポンプ | 動作音に異常がありませんか。 | 異常音がある場合は、ポンプの故 障が考えられます。お客様サービ スセンターにご連絡ください。 |

保守(ユーザー)点検チェックリスト

| 点検項目 | 点検内容 | 処置方法 |
|--|--|--|
| ボトルカバー ボトルパッキン 吸引チューブ接続口 フロートセット O リング | ヒビ割れ、傷、劣化などがありませんか。 | 破損している場合は、交換してください。 |
| 本体チューブ 吸引チューブ | ヒビ割れ、傷、劣化などがありませんか。 | 汚れがある場合は、洗浄してください。 破損している場合は、交換してください。 |
| 真空計 | 動作状態において、吸引圧力の強 弱に伴い、針が円滑に動いていま すか。 | 動作異常がある場合は、真空計の 故障が考えられます。お客様サー ビスセンターにご連絡ください。 |
| 吸引圧調節ツマミ | 動作状態において、吸引チューブ を折り曲げ、吸引圧調節ツマミに よる圧力調節が正しく行えますか。 | 動作異常がある場合は、吸引圧調 節器などの故障が考えられます。 お客様サービスセンターにご連絡 ください。 |

▲警告

• 部品の取り付け・取り外し、お手入れのときは、電源スイッチを「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 (感電や誤動作によるけがの原因になります。)



• 絶対に分解・改造を行わないでください。 (発火や感電、けがの恐れがあります。)



介注意

• ご不要となった本体や付属品、別売品を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。 (環境汚染の原因となることがあります。)



故障かなと思ったら(修理を依頼される前にお読みください)

動作チェックリスト

| 現象 | 原 因 | 対 策 |
|-------------------------------------|---|---|
| | 電源プラグが抜けていませんか。 | 専用A Cアダプターを正しく差し 込んでください。 |
| | 専用ACアダプターのコードが断 線していませんか。 | 専用ACアダプターを交換してく ださい。 |
| | 指定の専用ACアダプターを使用 していますか。 | 指定の専用 AC アダプター以外は 絶対に使用しないでください。 |
| ポンプが作動しない | コンセントに電気がきていますか。 | 電気のきているコンセントを使用してください。 |
| | 電源スイッチを正しく入れていますか。 | 電源スイッチを入れてください。 |
| | 上記以外の原因 | 本体内部での異状が考えられます。お客様サービスセンターにご 連絡ください。 |
| ポンプは作動するが 吸引しない または 吸引力が弱い | ポンプの作動不良またはリーク (空気漏れ) | 本体チューブを外し、本体の入り口部を塞いだ状態で電源スイッチを「入」にします。吸引圧調節ツマミを「強」にして、真空計の針が-85kPa 程度を示せばポンプに異常はありません。吸引ボトルでのリーク(空気漏れ)が考えられますので、次のリークチェックを行ってください。 |
| | フロートがフロートストッパーに くっついていませんか。 (フロートが濡れているとくっつ きやすくなります。) | 吸引物を廃棄し、ボトルからボト ルカバーを外して、フロートとフ ロートストッパーを離します。 |

リークチェック(空気漏れ検査)チェックリスト

| 点検項目 | 点検内容 | 処置方法 |
|-----------|---|--|
| 本体チューブ | 本体チューブがきちんと取り付けられていますか。 〇リングが正しく取り付けてありますか。 〇リングにヒビ割れ、傷などがありませんか。 | 本体チューブをすき間なく取り付ける。ひび割れや傷がある場合は交換してください。 〇 リングを正しく取り付ける。 破損、紛失などの場合は新しいものと交換してください。 |
| ボトルカバー | ボトルカバーがボトルに対して曲 がって取り付けられていませんか。 | ボトルカバーをボトルに正しく取 り付ける。 |
| ボトルパッキン | ボトルカバーのパッキンが正しく 取り付けられていますか。 パッキンに亀裂などが入っていま せんか。 | パッキンを正しく取り付ける。亀 裂がある場合は新しいものと交換 してください。 |
| 吸引ボトル | ボトルカバーのパッキンが正しく 取り付けられていますか。 パッキンに亀裂などが入っていま せんか。 | 破損している場合は、交換してください。 |
| 吸引チューブ接続口 | O リングが正しく取り付けてありますか。 O リングにヒビ割れ、傷などがありませんか。 | O リングを正しく取り付ける。 破損、紛失などの場合は新しいも のと交換してください。 |
| 真空計 | 停止状態において、針はゼロ付近 を指していますか。 | お客様サービスセンターにご連絡 ください。 |
| 上記以外 | 上記以外 | お客様サービスセンターにご連絡ください。 |

▲警告

• 絶対に分解・改造を行わないでください。発火や感電、けがの恐れがあります。



注意

• ボトルカバーへはフロート及びフロートストッパーを必ず取り付けて使用してください。



仕様について

仕様

| 販 売 名 | チェリッシュ S-601 |
|---------------------|--|
| 認証番号 | 230ALBZX00027000 |
| 類別 | 機械器具 32 医療用吸引器 |
| 一般的名称 | 電動式可搬型吸引器 |
| 医療機器分類 | 管理医療機器 |
| 電撃に対する保護の 形式 | クラスⅡ機器 |
| 電撃に対する保護の 程度 | BF 型装着部 |
| 吸 引 圧 | — 85kPa ± 10%(最高吸引圧) |
| 最大吸引流量 | 25L/min 以上 |
| 吸引ボトル容量 | 約 1200mL |
| 電源(専用 AC アダ プター) | 入力:交流 100-240V(50-60Hz)/1.6-0.7A、 出力:直流 12V/5A |
| 使用環境湿度 | + 5℃~+ 35℃、30% RH ~ 60% RH(ただし結露なきこと) |
| 保管環境湿度 | — 10℃~+ 60℃、10% RH ~ 75% RH(ただし結露なきこと) |
| 外形寸法 | 幅約 430mm ×奥行き約 176mm ×高さ約 270mm |
| 本 体 重 量 | 3.2kg(専用 AC アダプターを除く) |
| IP 保護等級 | IP22(防滴保護形) |
| 付属品 | 本体、専用 AC アダプター、本体チューブ、吸引チューブ、 カテーテルコネクター、取扱説明書兼保証書(本書)、添付文書 |
| 製造販売元 | シースター株式会社 〒 108-0075 東京都港区港南 1 丁目 8 番 40 号 A-PLACE 品川 4F |

[※]上記性能は出荷時のものであり、ご使用の期間・頻度などにより性能は低下してきます。性能を維持し、 安全にご使用いただくために、日常点検、保守点検(ユーザー点検)および 1 年に 1 度は製造販売元 または修理業者による年次点検、整備を行ってください。

記号について

| 記号 | 名 称 | 説明 |
|-------------|-------------|--|
| | クラスⅡ機器 | クラスⅡ機器とは、電撃に対する保護を基礎絶縁だけに依存せず、二重絶縁または強化絶縁のような追加保護措置が講じられた機器です。 |
| \sim | 交流 | 専用ACアダプターは交流 100-240V(50 - 60Hz) の商用電源へ接続してください。 |
| === | 直流 | 本製品は直流 12V 駆動です。 |
| ⊖ | 直流コネクター極性 | 直流プラグまたはジャックの極性です。 |
| \bigcirc | 無段階調節 | 吸引圧は無段階に調節できます。 |
| 沈 | BF 型装着部 | 電撃に対する保護の程度が、BF 型装着部であることを示しています。IEC 60601-1 規格に規定される要求事項に適合しています。 |
| \triangle | 注意 | 本書(取扱説明書)および添付文書をよくお読みの うえ、正しくお使いください。 |
| EMC適合 | EMC 適合 | 本製品は EMC 規格「IEC 60601-1-2:2014」に適合しています。ただし、他の医療機器、電子機器との併用において相互に影響を生じる場合があります。本書(取扱説明書)および添付文書に従って正しい設置、取り扱いをしてください。 |
| | 操作指示に従う | 操作指示に従って使用する必要があることを示しています。本書(取扱説明書兼品質保証書)および添付文書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 |
| IP22 | IP 保護等級(防滴) | 垂直より左右 15°以内からの水滴によって有害な影響を受けません。 |

別売品について

別売り品一覧

ボトルカバー



ボトルハンドル

フロートセット





排水管



ボトルパッキン

吸引チューブ接続口

吸引チューブ接続口用 〇リング 黒 2 本セット

吸引ボトル

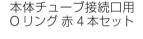




 \bigcirc

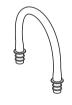


本体チューブセット (O リング付)



吸引チューブ

カテーテルコネクター



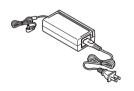




カテーテルホルダー

専用 AC アダプター





■別売品についてのお問い合わせ、修理のご依頼は下記へご連絡ください。

お客様サービスセンター

03-4511-8855

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 (土日祝日・夏期および年末年始休業を除く)

WEB ショップ OXiM オンライン https://www.rakuten.co.jp/oxim-online/

EMC 技術資料

IEC 60601-1-2 の適合宣言

- S-601 は、IEC60601-1-2 規格に準拠した EMC 要件を満たすために通常の使用下で動作させなければなりません。
- 携帯型および移動型の無線通信機器は、医療用電気機器に影響を与える可能性があります。
- 医療機器の製造者が内部部品の交換部品として販売する交換器とケーブルを除いて、 指定されたもの以外のアクセサリや交換器およびケーブルを使用すると、医療機器 のエミッション(電波妨害の放射)が増加したり、機器のイミュニティ(電波妨害 の耐性)が低下する可能性があります。
- 医療機器を他の機器の近くで使用したり積み重ねたりしないでください。隣接機器 や積み重ねが必要な場合は、医療機器を使用する設定で正常に動作することを確認 する必要があります。
- 医療機器に指定されたもの以外のアクセサリや交換器またはケーブルを使用すると、 医療機器のエミッション(電波妨害の放射)が増加したり、医療機器のイミュニティ (電波妨害の耐性)が低下する可能性があります。



製造業者による宣言 - 電磁エミッション

S-601 は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。S-601 の患者または使用者は、このような環境で S-601 が使用されていることを確認してください。

| エミッション試験 | 適合性 | 電磁環境ガイダンス(在宅医療環境用) |
|--------------------------------|--------|---|
| RF エミッション CISPR11 | グループ 1 | S-601 は、内部機能のためだけに RF エネルギーを使用しています。したがって、その RF エミッションは非常に低く、近傍の電子機器に何らかの干渉を生じさせる可能性はほぼありません。 |
| RF エミッション CISPR11 | クラス B | S-601 は、住宅環境および住宅環境の建物 |
| 高調波エミッション IEC61000-3-2 | クラス A | に供給する商用の低電圧配電系に直接接続 |
| 電圧変動/フリッカエミッション IEC1000-3-3 | 適合 | しています。 |

製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

S-601 は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。S-601 の患者または使用者は、このような環境で S-601 が使用されていることを確認してください。

| All link Cisors of Skill Country and Count | | | | | | |
|--|---|---|--|--|--|--|
| イミュニティ試験 | IEC60601 試験レベル | 適合性レベル | 電磁環境ガイダンス (在宅医療環境用) | | | |
| 静電気放電(ESD) IEC61000-4-2 | ± 8kV 接触 ± 2kV, ± 4kV, ± 8kV, ± 15kV 気中 | ± 8kV 接触 ± 2kV, ± 4kV, ± 8kV, ± 15kV 気中 | 床は木材、コンクリートまたはセラミックタイルとしてください。 床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は少なくとも30%であることを推奨します。 | | | |
| 電気的な高速過渡現象 / バースト IEC61000-4-4 | ± 2kV 電源線 ± 1kV 入力出力信号線 | ± 2kV 対電源線 | 電源の品質は、典型的な在宅医療環境のものを利用してください。 | | | |
| サージ IEC61000-4-5 | ± 0.5kV,+1kV ラ イ ン対ライン間 ± 0.5kV, ± 1kV, ± 2kV ライン対接地間 | ± 0.5kV,+1kV ラ イ ン対ライン間 | 電源の品質は、典型的な在宅医療 環境のものを利用してください。 | | | |
| 電圧ディップ、瞬停、 および電源入力線で の電圧変動 IEC61000-4-11 | 電圧ディップ: 0%Ur: 0.5 サイクル 0%Ur: 1 サイクル 70%Ur: 25/30 サイクル カル 電圧遮断: 0%Ur: 250/300 サイクル | 電圧ディップ: 0%Ur; 0.5 サイクル 0%Ur; 1 サイクル 70%Ur; 25/30 サイ クル 電圧遮断: 0%Ur; 250/300 サ イクル | 電源の品質は、典型的な在宅医療環境のものを利用してください。 S-601の使用者が停電中に継続して動作する必要がある場合は、 S-601の電源を無停電電源またはバッテリから供給することをお勧めします。 | | | |
| 電力周波数 (50/60Hz) 磁界 IEC61000-4-8 | 30A/m 50Hz 又は 60Hz | 30A/m 50Hz 及び 60Hz | S-601 の電力周波数磁界は、典型的な在宅医療環境と場所に対する特徴的なレベルである必要があります。 | | | |

注記:UTは試験レベルを加える前の交流電源電圧です。

製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

S-601 は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。S-601 の患者または使用者は、このような環境で S-601 が使用されていることを確認してください。

| イミュニティ試験 | IEC60601 試験レベル | 適合性レベル | 電磁環境ガイダンス(在宅医療環境用) |
|-----------------------|---|--|---|
| 伝導 RF IEC61000-4-6 | 3Vrms: 150kHz ~ 80MHz 6Vrms: 150kHz ~ 80MHz の間の ISM 帯域及び アマチュア無線帯域 80%AM (1kHz) | 6Vrms | 携帯型および移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む S-601 のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。 推奨離隔距離: d=1.2√P d=1.2√P 80MHz to 800MHz |
| 放射 RF IEC61000-4-3 | 10V/m 80MHz ~ 2.7GHz ^b 80% AM (1kHz) | 10V/m 80MHz ~ 2.7GHz 80% AM (1kHz) | |

注記 1:80MHz および 800MHz では、より高い周波数範囲を適用します。

注記 2: これらのガイドラインは、すべての状況に対して適用するとは限りません。電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

- a) 無線(携帯 / コードレス)電話および陸上移動無線の基地局、アマチュア無線、AM·FM ラジオ放送およびテレビ放送のような固定送信機からの電界強度は理論的に正確な予測ができません。固定 RF 送信機に起因する電磁環境を評価するには、電磁場調査を考慮する必要があります。S-601 が使用する場所において測定した電界強度が上記の適用する RF 適合性レベルを超える場合は、S-601 が正常動作するかを検証するために観察する必要があります。異常動作を確認した場合には、S-601 の向きを変えるか再配置するなど、追加の対策が必要な場合があります。
- b) 150kHz ~ 80MHz の周波数範囲では、電界強度は 3V/m 未満である必要があります。

携帯型および移動型無線通信機器と S-601 との間の推奨分離距離

S-601 は、放射無線妨害を管理している電磁環境内(在宅医療用)での使用を意図しています。S-601 の患者または使用者は、通信機器の最大出力に応じて、下記に推奨している携帯型および移動型 RF 通信機器(送信機)と S-601 との間の最小距離を維持することで、電磁干渉を防ぐことができます。

| 送信機の最大定格出力電力(W) | 送信機の周波数に基づく分離距離(m) | | | |
|-----------------|---------------------------|-----------------------------|--|--|
| _ | 150kHz ~ 80MHz d=1.2√P | 80MHz ~ 800MHz d=1.2 √ P | $800 \mathrm{MHz} \sim 2.7 \mathrm{GHz}$ d=2.3 $\sqrt{\mathrm{P}}$ | |
| 0.01 | N/A | 0.12 | 0.23 | |
| 0.1 | N/A | 0.38 | 0.73 | |
| 1 | N/A | 1.2 | 2.3 | |
| 10 | N/A | 3.8 | 7.3 | |
| 100 | N/A | 12 | 23 | |

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、送信機の周波数に適用される式を使用して推奨分離 距離 d(m) を推定できます。ここで p は送信機の最大出力定格(ワットW)を送信します。

注記 1:80MHz および 800MHz では、より高い周波数範囲を適用します。

注記 2: これらのガイドラインは、すべての状況に対して適用するとは限りません。電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

製造業者による宣言 - 電磁イミュニティ

RF 無線通信機器に対する外部ポートのイミュニティ試験仕様

S-601 は、以下に示す電磁環境(在宅医療用)での使用を目的としています。S-601 の患者または使用者は、このような環境で S-601 が使用されていることを確認してください。

| 7.13 (4.1.) | | | | | | | |
|----------------|---------------------------|--|---|-------------|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 試験周波数 (MHz) | 帯域 ^{a)} (MHz) | サービス® | 変調 ^{b)} | 最大電力 (W) | 距離 (m) | イミュニティ 試験レベル (V/m) | 適合性レベル (V/m) (在宅医療用) |
| 385 | 380 ~ 390 | TETRA400 | パルス変調 ^り 18Hz | 1.8 | 0.3 | 27 | 27 |
| 450 | 430 ~ 470 | GMRS460, FRS460 | FM [©] ± 5kHz 偏差 1kHz 正弦 | 2 | 0.3 | 28 | 28 |
| 710 | 704 ~ | | パルス変調 ^{b)} | | | | |
| 745 | 704 ~ | LTE帯域 13,17 | 700人変調 7 217Hz | 0.2 | 0.3 | 9 | 9 |
| 780 | 707 | | 217112 | | | | |
| 810 | | GSM800/900, TETRA800, | | | | | |
| 870 | 800 ~ 960 | iDEN820, CDMA850, LTE 帯域 5 | | 2 | 0.3 | 28 | 28 |
| 930 | | | | | | | |
| 1720 | | GSM1800; CDMA1900; | | | | | |
| 1845 | 1700 ~ 1990 | GSM1900; DECT; | パルス変調 ^り 217Hz | 2 | 0.3 | 28 | 28 |
| 1970 | | LTE 帯域 1,3, 4,25;UMTS | | | | | |
| 2450 | 2400 ~ 2570 | Bluetooth, WLAN, 802.11b/g/n, RFID2450, LTE 帯域 7 | パルス変調 ^{b)} 217Hz | 2 | 0.3 | 28 | 28 |
| 5240 | E100 - | \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\ | ル・ローフ a大手用 b) | | | | |
| 5500 | 5100 ~ 5800 | WLAN802.11 a/n | パルス変調 ^{b)} 217Hz | 0.2 | 0.3 | 9 | 9 |
| 5785 | | CV 11 | <u> </u> | | | | |

注記:イミュニティ試験レベルを達成するために必要な場合は,送信アンテナと ME 機器又は ME システムとの間の距離を 1m まで近づけることができます。IEC61000-4-3 では,1m の試験距離を許容しています。

- a) 幾つかのサービスでは、上り回線周波数だけを含みます。
- b) 搬送波は、デューティ比 50% の方形波で変調します。
- c) 周波数変調の代わりに、18Hz での 0% パルス変調を使うことができます。これは、実際の変調を表すわけではないが、最悪状態と考えられるからです。

保証規定と保証書

保証規定

- 1. 保証期間はお買い上げ後1年間です。
- 2. 保証書の再発行は致しませんので大切に保管してください。
- 3. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意に従って正常な使用状態で故障した場合に無償修理または交換いたします
- 4. 無償修理を受けられるときは、本保証書をご提示のうえ、お客様サービスセンターまで 修理をご依頼ください。
- 5. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - (イ)誤った使用、不注意による故障または損傷の場合。
 - (ロ)保管上の不備、ご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷の場合。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷などの天変地異、電源の異常電圧、指定外の使用電源(電圧、 周波数)などによる故障および損傷。
 - (二) 弊社の許諾を受けることなく、修理や改造を行った場合。
 - (ホ)本保証書の提示がない場合。
 - (へ)本保証書に販売店、お買い上げ日などの記載の不備がある場合、あるいは内容を書き換えられた場合。
 - (ト)消耗部品および付属品のお取り替えの場合。
 - (チ)付属品以外の部品を取り付けて使用した場合。

品質保証書

このたびは、チェリッシュ S-601 をお買い上げいただきありがとうございました。 商品は、厳重な品質検査を行っておりますが、万が一、通常のご使用において不具合が発生いたしま した場合は、ご購入日より 1 年間、無償修理または交換を致します。

お客様サービスセンターへ本保証書をご提示の上修理をご依頼ください。

| 販売名 | チェリッシュ | S-601 | |
|---------|--------|-------|--|
| ご芳名 | | | |
| ご住所 | | | |
| CEM | | | |
| | | | |
| | | | |
| TEL | (|) | |
| (| ` | , | |

| お買い上げ店名 | | | | | |
|---------|---|---|--|--|--|
| | | | | | |
| ご住所 | | | | | |
| | | | | | |
| TEI | (|) | | | |
| TEL | (|) | | | |
| ご購入年月日 | | | | | |

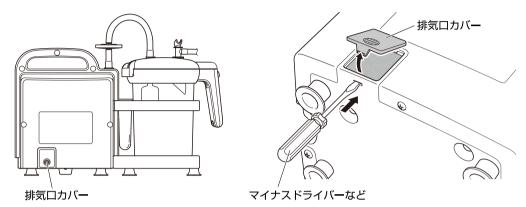
製造販売元

シースター株式会社 〒 108-0075 東京都港区港南 1 丁目 8 番 40 号 A-PLACE 品川 4F お客様サービスセンター 03-4511-8855 (平日 9:00 ~ 18:00)

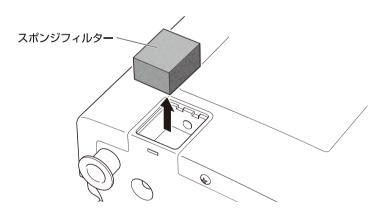
排気口は 1 ヶ月に 1 回程度、定期的にお手入れしてください。

排気ロカバーの外し方と取り付け

▲本体底面の底面溝に、細めのマイナスドライバーを差し込み、排気口カバーを外します。



2 中に入っているスポンジフィルターを取り出し、水洗いして乾燥させます。 排気口が汚れている場合は、ティッシュ等で拭き取ってください。



スポンジフィルターを戻し、排気口力バーを閉めます。

